

1. 中学校での目標

- (1) 毎日の生活に必要な国語の知識や技能を身につけて、言語文化に親しんだり理解できる力をつけます。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力をつけて、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力をつけます。
- (3) 言葉がもつ価値を知り、読書を生活に役立てて、言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う態度を養います。

2. 教材

教科書：国語1年（光村図書） 書写1、2、3年（光村図書） ワークシート
ファイル（授業プリントを綴じる） ワークブック：新・基礎の学習（新学社）
文法ワーク：つまづかない文法の学習（浜島書店） 漢字ワーク：漢字マスター（学宝社）
※ワーク類（文法・・・必要な時学校へ持ってくる）

3. 授業の受け方

- ・音読をはじめとした「読む」ことを大切にしよう。
- ・漢字語句の学習は計画的に進めて、「読み」「形」「意味」の要素をバランスよく身につけよう。
- ・ペア学習やグループ学習の場面では、お互いの意見を出し合い、共通点と相違点を確認しよう。
- ・ワークを有効に活用し、具体的な学習課題を整理しよう。
- ・スピーチや作文の学習場面では、前回までの自分と比較し自信につなげていこう。
- ・教科書以外の材料（新聞など）からもいろいろな視点で国語に関わる力を伸ばそう。
- ・振り返りでは、（+）理解できたところ、（-）理解できなかったところ、（→）理解を深めるために次に何をするかを分析し、自分で計画して学習に取り組めるようにしよう。

4. 家庭学習の進め方

- ①「音読」を予習復習の柱とし、視覚と聴覚を活用して日本語のすばらしさをさがそう。
- ②漢字語句に関する学習は、計画的に学習を行おう。
- ③単元が終わったら、ワークブックで授業の復習をしよう。
- ④記述式問題にもチャレンジし、自分の書けた答えを大切にしよう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	漢字語句をはじめとして、社会生活に必要な国語について、その特徴を理解し適切に使っているか。	単元テスト 定期テスト
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの学習場面において、社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているか。	定期テスト ワークシート 授業中の様子
主体的に 学びに向かう態度	言葉を通じて積極的に人とかかわり、思いや考えを深めながら、言葉が持つ価値を身につけようとしているか。	振り返りシート 授業中の様子

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詩 ・ 小説 ・ 説明文 ・ 漢字語句 ・ 書写 ・ 読書 ・ スピーチ ・ 文法 ・ 作文
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小説 ・ 随筆 ・ 説明文 ・ 漢字語句 ・ 書写 ・ 詩 ・ 古文 ・ 読書 ・ スピーチ ・ 文法 ・ 作文
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小説 ・ 随筆 ・ 詩 ・ 漢字語句 ・ 書写 ・ スピーチ ・ 文法 ・ 作文

1. 中学校での目標

- (1) 社会的な事物について理解するために、資料(インターネット等)から情報を集める力を身につけます。
- (2) 社会的な見方・考え方を働かせ、事物を整理し、課題を解決する力を身につけます。
- (3) 社会的な事象に自ら進んで関わり、課題解決の過程を振り返りながら評価・改善しようとする力を身につけます。

2. 教材

【地理的分野】

教科書：中学生の地理（帝国書院）、授業用ワークシート（先生の手作り）

問題集：社会の自主学习地理（新学社）、トラスト（正進社）

資料集：地理の資料（正進社）、中学校社会科地図（帝国書院）

【歴史的分野】

教科書：新しい社会歴史（東京書籍）、授業用ワークシート（先生の手作り）

問題集：社会の自主学习歴史（新学社）、トラスト（正進社）

資料集：学び考える歴史（浜島書店）

これら全ては、自らが宿題等で必要なときのみ持ち帰り、普段は学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- ・授業の中でまず目標を設定して見通しを持ち、課題解決のために計画的に行動しましょう。また実行して「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」を考え、その理由や原因を明らかにして次の学習に活かしましょう。
- ・授業の課題に取り組む際は、まず課題解決に必要な情報を教科書やインターネットを使って集めましょう。そして集めた情報を整理し、分かりやすくまとめて表現しましょう。

4. 家庭学習の進め方

「計画/テスト/分析/練習」の順番で行う「けてぶれ」を使って家庭学習を行います。社会の自主学习（問題集）やトラスト（問題集）、みんなの学習クラブなど使えるツールはフル活用して、自分のために計画的に宿題に取り組みましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	地理、歴史に関する用語を理解しているか。 諸資料からさまざまな情報を読み取れるか。	・定期テスト ・単元テスト
思考・判断・表現	知識や技能を活用して課題を解決することができるか。	・定期テスト ・振り返りシート
主体的に 学びに向かう態度	自らの学びを調整できる力を身に付け、粘り強く取り組んでいるか。	・振り返りシート ・「けてぶれ」

6. 学習計画

学期	学習内容 (単元)
1 学期	<p>【地理的分野】</p> <p>第1部 世界と日本の地域構成</p> <p>第1章 世界の姿</p> <p>第2章 日本の姿</p> <p>第2部 世界のさまざまな地域</p> <p>第1章 人々の生活と環境</p> <p>第2章 世界の諸地域</p> <p>第1節 アジア州</p> <p>第2節 ヨーロッパ州</p> <p>第3節 アフリカ州</p>
2 学期	<p>【地理的分野】</p> <p>第2部 世界のさまざまな地域</p> <p>第2章 世界の諸地域</p> <p>第4節 北アメリカ州</p> <p>第5節 南アメリカ州</p> <p>第6節 オセアニア州</p> <p>【歴史的分野】</p> <p>第1章 歴史へのとびら</p> <p>第2章 古代までの日本</p> <p>1節 世界の古代文明と宗教のおこり</p> <p>2節 日本列島の誕生と大陸との交流</p> <p>3節 古代国家の歩みと東アジア世界</p>
3 学期	<p>【歴史的分野】</p> <p>第3章 中世の日本</p> <p>1節 武士の政権の成立</p> <p>2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開</p>

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学化的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。 	ワークシート 小テスト 単元テスト レポート 定期テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読みとり批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力をつける。 	ノート 振り返り レポート プレゼンテーション 単元テスト 定期テスト 授業中の取組の様子
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を身につける。 	ノート 振り返り 小テスト レポート 単元テスト 定期テスト 授業中の取組の様子

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	1章 正の数・負の数 正の数・負の数、正の数・負の数の計算、正の数・負の数の利用、章末問題 2章 文字の式 文字を使った式、文字式の計算、章末問題
2 学期	3章 方程式 方程式、方程式の利用、章末問題 4章 変化と対応 関数、比例、反比例、比例と反比例の利用、章末問題 5章 平面図形 直線と図形、移動と作図
3 学期	5章 平面図形 円とおうぎ形、章末問題 6章 空間図形 立体と空間図形、立体の体積と表面積、章末問題 7章 データの活用 ヒストグラムと相対度数、データに基づく確率、章末問題

1. 中学校での目標

自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な力をつけます。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験の技能を身につけます。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。
- (3) 自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養います。

2. 教材

教科書：未来へひろがるサイエンス 理科ノート 問題集：完全学習

宿題プリント：基礎を築く

みんなの学習クラブ（iプリ、iプリチェック）

教科書と理科ノートは家庭学習のために持ち帰りましょう。それ以外は必要なときのみ持ち帰り、ふだんは学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

授業中の「考える課題」はよく考え、他の人の考えをよく聞き自分の考えと比べて良い点を取り入れましょう。

授業中に新しい知識を習うときは、自ら知識を得るようにしていきましょう。その際に教科書の目的とする部分だけではなく関連する部分もよく読み、ひとつずつ知識を覚えるのではなく知識を繋げて覚えましょう。そして新しい知識は「あとで」ではなく「そのときに（授業中に）」おぼえるようにしましょう。もしわからない場合は今一度丁寧に教科書を読み、それでも分からない場合は教員か周りの人に聞きましょう。

振り返りは日々授業後半に記入し、積み上げていきましょう。その際に新たに学んだこと、これから気を付けて勉強しないといけないことを記入しておき、効果的に学習に繋がられるようにしましょう。

実験、観察は結果を予測しながら行い、結果が出たら目的を見直して「何がわかるのか」を考えましょう。

4. 家庭学習の進め方

その日にやった授業プリントや教科書の該当する部分を読みましょう。授業中の課題の答えを別の紙にもう一度書いてみましょう。そこでどのような内容が自分にとって難しいかを分析し、弱点を克服しましょう。

宿題プリントや問題集、「みんなの学習クラブ」のiプリとiプリチェックをやることで、忘れてしまったところや理解が不十分なところを見つけましょう。忘れてしまったところや理解が不十分なところは、早めに調べたり聞いたりしましょう。

定期テスト前には、理科ノートの授業でやった部分をやり直したり、宿題プリントや問題集をやり直したりしましょう。特に、以前やったときに間違えたところができるようになっていっているかどうか確認して、できるようになっていなければ早めに調べたり聞いたりしましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	・用語、法則、観察実験の技能、観察実験結果の記録・整理のやり方等を身につけているか	単元テスト 定期テスト 観察実験実技テスト レポート
思考・判断・表現	・観察実験の計画を正しく立てることができるか ・観察実験結果から正しい結論を導き出せるか ・上の2つを他の人に伝わるように表現できるか ・基礎的な知識を組み合わせることにより、より難しい知識を導き出すことができるか	単元テスト 定期テスト レポート 理科ノート 振り返りシート 授業中のようす
主体的に 学びに向かう態度	・知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけることに熱心に取り組んでいるか ・知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけるために、自分はどこができない・わからないのかを見つけ、それを解決しようとしているか ・自然現象等に進んで関わろうとしているか ・自然現象等について、なぜそうなるのかを考えたり、自分の考えを振り返ったりするなど、科学的に考えようとしているか	宿題プリント レポート 理科ノート 振り返りシート 授業中のようす

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	【自然の中にあふれる生命】 および 【いろいろな生物とその共通点】 植物の特徴と分類 動物の特徴と分類 【身のまわりの物質】 いろいろな物質とその性質
2 学期	【身のまわりの物質】 いろいろな気体とその性質 水溶液の性質 物質のすがたとその変化 【光・音・力による現象】 光による現象 音による現象
3 学期	【光・音・力による現象】 力による現象 【活きている地球】 身近な大地 ゆれる大地 火をふく大地 語る大地

1. 中学校での目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる力を身につけます。

- (1) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を養います。
- (2) 音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにします。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし音楽に親しんでいく態度や豊かな情操を養います。

2. 教材

教科書：音楽1、器楽 音楽のハーモニー 曲集：ジョイフルソング

全ての教材は必要ときのみ持ち帰り、ふだんは学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- 学習課題を的確に把握し、それらを解決するために情報を集めましょう。
- ・歌詞の内容や曲想を感じ取って自分の中から外に向かって表現しよう。
- ・音楽の特徴を感じ取り、表現を工夫しよう。
- ・多種多様な音楽に興味・関心を持って聴こう。

4. 家庭学習の進め方

- 宿題や課題に向けて練習をしっかりと取り組もう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に記載されている音楽用語の意味を覚えたか。 音楽を構成している要素を理解し曲の特徴を感じ取ることができたか。 音程を正確にとらえ歌唱することができたか。 楽器の特徴を知り、楽譜通りに楽器を演奏することができたか。 	定期テスト 実技テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の基礎を知り、どのように表現したいかを考えることができたか。 グループ学習において他者の意見をよく聞き自分の考えを発表することができたか。 自分の感じたことを音楽で表現したり記述したりすることができたか。 	定期テスト 授業プリント 授業中のようす
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけることに楽しみながら取り組んでいるか。 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけるために、自分はどこができない・わからないのかを見つけ、それを解決しようとしているか。 音楽に対して関心。意欲を持ち、積極的に音楽活動に取り組んでいるか。 	宿題プリント 授業プリント 授業中のようす

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 発声練習 校歌 合唱「ビリーブ」 鑑賞「春」
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクールに向けての取り組み 鑑賞「魔王」 器楽「箏」
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 創作「リズムアンサンブル」 歌唱「日本の歌」 卒業式合唱練習

1. 中学校での目標

表現および鑑賞の幅広い活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるちからを育てます。

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てます。
- (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、心豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てます。
- (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てます。

2. 教材

教科書：美術1 美術資料集 絵具セット 活用：（自主教材アイデア用紙・がんばりシート）
教科書と資料集、絵具セットは学校へ置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- ・授業で指示される制作のポイントを理解し、意欲的に制作課題に取り組もう。
- ・制作中のつまずきは誰しもあります。
自分の良いところを発見し、活かし、最後まで諦めずに取り組もう。
- ・アイデア用紙で、自分の制作物のテーマや構想を明確にして課題に取り組もう。
- ・自ら課題を見つけ、制作時間を意識し、計画的に自己完成度の高い作品を生み出していこう。
- ・自分の意見や感想を述べられるようにしよう。また、仲間の表現も尊重し、協力、協同を心がけよう。
- ・出来るようになったこと、発見したことは、自分の創造力の高まりです。
自信をもって、さらに自分の能力やセンスを磨いていこう。
- ・美術室、使用する道具、作品を大切に扱い、道具を安全に使用しよう。
- ・忘れ物をして制作活動が停止しないようにしよう。

4. 家庭学習の進め方

- ・制作にあたって、作品づくりに活用できそうな資料を自分で用意をする必要があります。
作品づくりのためのアイデアをふくらませておこう。
- ・美術館や博物館に実際に行って、多くの芸術作品とふれあうなど、鑑賞の機会をつくっていこう。
実際に見る、感じる事がとても大切です。
- ・テレビで美術番組を観てみましょう。
NHK 『日曜美術館』
Eテレ 『MIXびじゅチューン!』、『デザインミュージアムをデザインする』
『no art, no life』
テレビ愛知 『新美の巨人たち』
BS日テレ 『ぶらぶら美術館・博物館』

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などでとらえることを理解している。 材料や用具の活かし方などを身に付け、意図に応じて工夫している。 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら見直しをもって表している。 	活動内容と質（表現に活かせる知識・表現につながる技能の質） 活動内容・アイデア用紙・がんばりシート・作品と解説文・意見表明等
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 目的や機能から主題を生み出し、分かりやすさ使いやすさや機能と美しさの調和を考え、表現の構想を練っている。 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を豊かにする美術の働きにつて考えられる。 	活動内容と質（思考力・判断力・表現力の質） 活動内容・アイデア用紙・がんばりシート・作品と解説文・意見表明等
主体的に 学びに 向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や機能などを考えた表現の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 	授業中の態度（主体的な創作姿勢） 活動姿勢・アイデア用紙・がんばりシート・作品と解説文・準備物等

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	【美術との出会い あなたらしさを見つけて】 【見つめると見えてくるもの 手の表情から】 【見つめると見えてくるもの 手の表情から】 【じっくり見ると見えてくる 手の表情から】 【なぜか気になる情景 手の表情から】 【人間っておもしろい 手の表情から】 【絵の中をよく見ると 手の表情から】 【文字っておもしろい 夢】 【発想・構想の手立て 思いをこめた文字 A】 【印象に残るシンボルマーク 思いをこめた文字 A】 【色彩の基本・仕組み 色の感情】 【人の暮らしを豊かに 思いを伝える】
2 学期	【色彩の基本・仕組み 思いをこめた文字 B】 【さまざまな技法で描く 思いをこめた文字 B】 【見方や感じ方を広げよう 花にこめた想い】 【広がる模様の世界 花にこめた想い】 【自然の美しさから生まれた 花にこめた想い】 【暮らしの中の木の工芸 花にこめた想い】 【木工の技法・材料を知ろう 花にこめた想い】
3 学期	【遠近感を表す 図形と図法】 【動作のあるかたちから 図形と図法】 【人の暮らしを豊かに 教室の表札をデザインする】

1. 中学校での目標

生涯にわたって、心身の健康を保持増進し、楽しさや喜びを味わおうとするための力をつけます。

- (1) 健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけます。
- (2) 運動や健康についての課題を発見し、解決に向けて思考し判断して、相手に伝える力を養います。
- (3) 心と体を一体として捉え、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養います。

2. 教材

【実技】

- ・ 体育実技 ・ 上下体操服 ・ 体育館シューズ ・ 動きやすい外靴
- ・ 必要に応じてタオルや水筒など

【保健】

- ・ 保健の教科書 ・ 保健ノート

【共用】

- ・ ファイル

*持ち帰りではありませんが、各種ルールなどを体育実技で確認しておきましょう。

3. 授業の受け方

- ・ 各種目、ルールを調べたり、技の名称を覚えたりしながら、積極的に情報を集めましょう。
- ・ グループ活動では、リーダーを中心に「なぜ」を共有して見通しを持ち、「どうすればよいか」を考え、計画を立て、それを工夫しながら活動しましょう。保健では、実生活と結び付け、より豊かな生活のためには「どうすればよいか」考えながら授業に参加しましょう。
- ・ 運動が得意な人も、苦手な人も授業を楽しめるように、周り交流与合作することも、情報を集めることの一つです。

4. 家庭学習の進め方

- ・ 授業の中の課題をよりよいものにするために、インターネットなどで情報を収集してみましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・種目に応じた技能・知識 ・健康・安全の留意点についての理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト ・各種目での活動
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた技能の選択 ・現状の分析 ・上達するための工夫 ・グループ活動での言動 ・他者に伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニゲーム ・振り返りシート ・授業に取り組む姿
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への主体的な取り組む様子 (課題解決に向けての手立てを考えられる) ・グループ活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿 ・振り返りシート

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<p>【実技】 集団行動、新体力テスト、陸上競技（短距離・リレー）、球技（ネット型）</p> <p>【保健】 健康な生活と病気の予防、運動やスポーツの多様性</p>
2 学期	<p>【実技】 球技（ベースボール型）、器械運動（マット）、武道（柔道または剣道）、陸上競技（長距離走）</p> <p>【保健】 心身の機能の発達と心の健康、運動やスポーツの多様性</p>
3 学期	<p>【実技】 球技（ゴール型）、ダンス</p> <p>【保健】 心身の機能の発達と心の健康</p>

1. 中学校での目標

技術によってよりよい生活や持続可能な社会を作るために必要な力をつけます。

- (1) 生活や社会で利用されている技術についての理解を深め、それに関わる技能を身につけます。
- (2) 実習を行う中で見つけた、課題を解決する力を養います。
- (3) 正しく技術を工夫し、新しいものを創り上げようとする態度を養います。

2. 教材

教科書：新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍） 授業プリント

テスト前など必要だと思ったときのみ持ち帰り、普段は学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

授業中の自分で考える課題はよく考え、自分なりの意見を持つようにしましょう。また、他の人に意見を聞き、取り入れることで自分の意見をより良いものにしましょう。

分からないことは先生や他の人に聞いてみてください。

実習中はどのようにしたらよいか、なぜそのようにするのかを集めた情報から考えて作品に繋げていきましょう。

4. 家庭学習の進め方

授業中に気になったことや知りたいことは積極的に書籍やインターネットで調べるようにしましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な知識が理解できているか ・ 道具の基本的な扱いができているか 	定期テスト 行動観察・作品
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物事に対して多面的に見ることができているか ・ 課題を見つけられたか ・ 課題を改善する考えを持ち、実現することができたか 	定期テスト 作品レポート 行動観察
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲的に授業を取組んでいるか ・ 事象に対して新たな課題を見出そうとしているか ・ 与えられた課題を解決しようとしているか ・ 自分の取り組みを振り返り次につなげることができているか 	定期テスト 授業態度 行動観察・作品

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<p style="text-align: center;">【技術分野のガイダンス】 【材料と加工の技術の原理・法則と仕組み】 材料の特性、材料の加工方法</p>
2 学期	<p style="text-align: center;">【材料と加工の技術による問題解決】 身の回りの問題の解決 木材製品の製作</p>
3 学期	<p style="text-align: center;">【材料と加工の技術による問題解決】 身の回りの問題の解決 木材製品の製作</p>

1. 中学校での目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活を実現するために必要な力をつけます。

- (1) 生活の自立に必要な基礎的な理解を深め、それに関わる技能を身につけます。
- (2) 実践・実習を行うなどで見つけた課題を解決する力を養います。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、生活を工夫し創造しようとする態度を養います。

2. 教材

教科書：新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍） 授業プリント
 技術・家庭 ワークノート 私たちの衣生活・住生活（地域教材社）
 必要だと思ったときのみ持ち帰り、普段は学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- ・授業中の自分で考える課題はよく考え、自分なりの意見を持つようにしましょう。また、他の人に意見を聞き、取り入れることで自分の意見をより良いものにしましょう。
- ・分からないことは先生や他の人に聞いてみてください。
- ・実習中はどのようにしたらよいか、なぜそのようにするのかを集めた情報から考えて作品に繋げていきましょう。
- ・振り返りでは、（+）理解できたところ、（-）理解できなかったところ、（→）理解を深めるために次に何をするかを分析し、自分で計画して学習に取り組めるようにしましょう。

4. 家庭学習の進め方

授業中に気になったことや知りたいことは積極的に書籍やインターネットで調べるようにしましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識が理解できているか。 ・道具の基本的な扱いができているか。 	定期テスト 作品 授業中の様子
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に対して多面的に見ることができているか。 ・課題を見つけられたか。 ・課題を改善する考えを持ち、実現することができたか。 	作品レポートの考察 作品レポート 授業中の様子
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業を取組んでいるか。 ・事象に対して新たな課題を見出そうとしているか。 ・与えられた課題を解決しようとしているか。 	振り返り 作品 授業中の様子

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	【家庭分野のガイダンス】 【私たちの衣生活】 衣服の選択と手入れ
2 学期	【私たちの衣生活】 生活を豊かにするための布を用いた製作
3 学期	【私たちの食生活】 食事の役割と中学生の栄養の特徴 中学生に必要な栄養を満たす食事

1. 中学校での目標

英語でコミュニケーションをするために必要な力をつけます。

- (1) 英語の音声や語彙、表現、文法等を理解し、その知識を実際のコミュニケーションで活用できる技能を身につけます。
- (2) 目的や場面、状況などに応じて、英語で情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養います。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手のことを考えながら、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。

2. 教材

教科書：NEW HORIZON English Course 1 ノート：英語パーフェクトノート

ワーク：ジョイフルワーク プリント：基礎をきずく、単語プリント等（ファイルにとじる）

※基本的にすべて持ち帰る。家庭学習によって、使わないものがあれば置いていてもよい。

3. 授業の受け方

・授業を大切にしましょう！

- ・英語はトレーニングの教科です。くり返し何度も使うことで上達します。
 - ・失敗を恐れず、英語でどんどん自分のことを話したり、書いたりすることに挑戦しましょう。失敗の数だけ上達します！
 - ・音読はしっかり声を出して発音しましょう。
 - ・分からないところは自分で調べたり、友達や先生に聞いたりしながら、情報を集め、一つひとつクリアにしていきましょう。
- ペアワークやグループワークを多く取り入れます。協力して取り組みましょう。
- ・友達が発表や質問をしているときは、しっかりききましょう。
 - ・タブレットはメリハリをつけて使いましょう。

4. 家庭学習の進め方

予習よりも授業の復習を大切にしましょう。授業があった日に、その日の復習をするのが一番効果的です。 **○復習をすること＝トレーニングを積むこと！**

- ① 授業で学んだことを理解するために、ジョイフルワークやiプリにくり返し取り組みましょう。
- ② 音読は **20回**を目安にがんばりましょう。可能な人は教科書のQRコードを使って、本文や単語を聞いたり、発音練習したりしましょう。
- ③ 教科書の該当部分の新出単語と本文を授業で学んだあとに、確認のためにノートに書き写しましょう。できれば発音しながら書いてみましょう。
- ④ 定期テストの前には、教科書・ジョイフルワーク・プリントの問題に3回以上取り組みましょう。
- ⑤ 「みんなの学習クラブ(iプリ)」の問題に取り組みましょう。

自分の英語力を伸ばすために、どんな勉強をしたらいいか、自分の課題、自分に合う勉強の方法を自分で考えて取り組むことを大切にしましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 英語に関する知識や英語を正確に使えているか。 身につけた英語の知識を正確に使えているか。 	小テスト パフォーマンステスト 定期テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるか。 	パフォーマンステスト 定期テスト 授業中の様子
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手のことを考えながら、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけるために、自分は何ができない・わからないのかを見つけ、それを解決しようとしているか。 	パフォーマンステスト 振り返りシート 授業中の様子

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<p style="text-align: center;">【 Unit 0～5 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分や身近な人やものについて、話したり書いたりする いつ・どこ・いくつなのか、好きなものをたずねる 相手に指示する 行った場所やそこで楽しんだことについて話す
2 学期	<p style="text-align: center;">【 Unit 6～ Let's Read 1 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分と相手以外のことについて伝える どちらなのか・だれのものなのかたずねる 身近な人に許可を求めたり、依頼したりする 相手の体調についてたずねたり、自分の体調について説明したりする 人に関する紹介を聞いて、その人がどんな人なのか理解する 今していることについて説明したり、たずねたりする したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりする 好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりする 図や表などの情報を参考に、文章の大まかな内容を読みとる。
3 学期	<p style="text-align: center;">【 Small Talk 2～Let's Read 2 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の出来事について説明したり、たずねたりする 過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明する 思い出に残った学校行事について発表する 英語で書かれた文学作品を聞いて話の内容の大筋を理解する 英語で書かれた物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解する